

令和 7 年度 水コン協関西支部 第 1 回技術講座
「上下水道事業における D X 研修」
～“上下水道 D X 技術カタログ”掲載技術の事例紹介～

1.技術講座の概要

今期、関西支部管内では、大阪・関西万博も盛況の中で無事閉幕し、その他下水道展'25 等の開催をはじめ、多くの未来社会における豊かな可能性を感じています。

上下水道事業を取り巻く状況は、施設の老朽化がクローズアップされ、今後ますます維持管理の重要性や、豪雨対策をはじめとした災害対応力の強化、上下水道管の二重化の必要性など、喫緊の課題に対応する必要があります。

一方、人口減少による使用料の減少、老朽化施設の増大、高齢化社会による職員の減少といった「ヒト・カネ・モノ」の不足が懸念され続けています。

こうした課題を解決する方策として、国土交通省では「上下水道 D X 技術カタログ」に基づき、全国でデジタル技術の導入が進められており、119 の先端技術が掲載され 3 年以内の標準実装を目指した取り組みが推進されています。

このような背景を踏まえ、本講座では水コン協会員及び上下水道事業関係者に、D X 技術の最新動向を把握し、技術提案力・事業展開力を高める絶好の機会ととらえ、先端技術の一部となりますが、当協会所属企業による D X 技術カタログの一部の事例を紹介することとし、今回水コン協の技術講座のテーマとして取り上げ、6 名の講師をお招きしてご講演頂きました。

【令和 7 年度 水コン協関西支部 第 1 回技術講座プログラム】

I. 開催日時

令和 7 年 10 月 21 日（火）13：30～16：40（受付開始 13：00）

II. 実施方法（対面形式及びオンライン方式(Zoom ウェビナー)）

①対面形式 会場：新大阪江坂東急 REI ホテル会議室

②オンライン形式 Zoom ウェビナーを用いた講習会（一方向ライブ配信）

III. 講演プログラム

1) 受 付 13：00～

2) 開 会 13：30

司会：2025 ミス日本 「水の天使」高坂 実憂 様

3) 開会挨拶 関西支部長 押領司 重昭 13：30～13：35

4) 講 演

① 講師：国土交通省 近畿地方整備局 河川部上下水道調整官 伴 善友 様

演題：国土交通省における D X の推進と取組

講演：講演時間 13：35～13：55

質疑応答 13：55～14：05

- ② 講師：日本下水道事業団 DX戦略部 建設DX課長 及川 宗 様
演題：J SにおけるDX推進の取り組み
講演：講演時間 14：05～14：25
質疑応答 14：25～14：40

— 休憩 — (14：40 ～ 14：50 約10分)

- ③ 講師：株式会社三水コンサルタントソリューションセンター
センター長 小林 郁 様
演題：下水道台帳システム
講演：講演時間 14：50～15：10
質疑応答 15：10～15：15

- ④ 講師：株式会社日水コン DX イノベーション事業部 プロダクト推進部
副部長 香西 正夫 様
演題：クラウド型水道・下水道台帳システム
講演：講演時間 15：15～15：35
質疑応答 15：35～15：40

- ⑤ 講師：中日本建設コンサルタント株式会社 大阪支社 技術部
主任 竹井 宗忠 様
演題：電力スマートメータと AI を用いた雨天時浸入水量割合の解析
講演：講演時間 15：40～16：00
質疑応答 16：00～16：10

- ⑥ 講師：株式会社N J S オペレーションズ本部インスペクション部
グループリーダー 高木 圭太 様
演題：被災時における閉鎖性空間点検調査用ドローン等 DX 技術の活用事例
講演：講演時間 16：10～16：35
質疑応答 16：35～16：40

5) 閉会挨拶 関西支部 技術部会長 白阪 文彦 16：40～16：45

6) 閉会 16：45

7) 参加者数 合計 465 名(協会員 446 名、地方公共団体 19 名)

- ① 対面形式 18 名
② オンライン方式 447 名

2.出席者の状況とアンケート調査結果

アンケート調査では、331 名の方から回答を頂きました。

「本技術講座に参加した印象」について「大変有意義だった」及び「有意義だった」が合わせて 96%を占め、参加者からは大変良好な評価を頂くことができました。

同様に「理解度」についても、「大変よく理解できた」及び「大体理解できた」が合わせて 94%を占めました。

今回は「上下水道DX技術カタログ」の一部の最先端事例を紹介させて頂きましたが、昨今の既存施設維持管理の重要性や、災害対応力の強化、システムの冗長性確保が提唱される中、「ヒト・カネ・モノ」の不足が懸念されている状況で、いかに効率化を図るのかについて大きな参考となったことが、「参加後の仕事のかかわり」について「積極的に活かしたい」及び「部分的に活かしたい」が合わせて 97%を占めることで確認できました。

3.最後に

本技術講座は、上下水道事業を取り巻く状況が日々刻々と変化する中で持続可能とするための対策として、「上下水道事業における DX 技術の事例紹介」をテーマに取り上げ実施し、アンケート調査結果が示すとおり参加者にとって非常に関心を惹く有意義な講演内容でありました。

また今回の技術講座への全体参加者数は 465 名と非常に多くの方にご参加頂き、その中でもオンライン方式による参加者が全体の 96%を占めたことから、改めてオンライン方式での技術講座実施の重要性について確認できた良い機会となりました。

水コン協では今後も上下水道事業の最新動向に注視し、国が推進する各種施策について、各事業体様への導入の糸口となり、また理解を深めて適切な施策を有効かつ効果的にご活用頂けるよう、講習会等を通じて上下水道事業への貢献(先進技術の周知と次世代への技術継承)を継続的行っていくことが必要であると考えております。

この度ご講演頂きました講師の伴様、及川様、小林様、香西様、竹井様、高木様ならびに司会進行頂きました 2025 ミス日本「水の天使」高坂様にはお忙しいなか、快くお引き受け頂きまして誠にありがとうございました。改めてここにお礼申し上げます。

【令和7年度 水コン協関西支部 第1回合同技術講座 会場の様子】

< 司会：2025 ミス日本「水の天使」高坂実憂 様 >



< 開会挨拶：押領司 関西支部長 >



< 講演①：伴講師 >

「国土交通省におけるDXの推進と取組」



< 講演②：及川講師 >

「J SにおけるDX推進の取り組み」



< 講演③：小林講師 >

「下水道台帳システム」



< 講演④：香西講師 >

「クラウド型水道・下水道台帳システム」



< 講演⑤：竹井講師 >

「電力スマートメータと AI を用いた雨天時浸入水量割合の解析」



< 講演⑥：高木講師 >

「被災時における閉鎖性空間点検調査用ドローン等 DX 技術の活用事例」



< 閉会挨拶：白阪部会長 >



< 聴講の様子① >



< 聴講の様子② >



< 聴講の様子③ >



< 技術講座終了後の記念撮影 >

皆様お疲れ様でした



以 上